

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05030020

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	2	国民健康保険事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	成人保健の充実	政策事務分類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	国民健康保険保健事業		見直し年度	平成27年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度		担 当 課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	疾病予防、医療費の抑制を目的とした保健指導の実施率				#N/A	
事業目標	50%		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名	有 第2期特定健康診査・特定保健指導実施計画		

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	○国保被保険者における特定健診項目以外の詳細な健診の実施及び対象者への二次健診の実施 ○特定保健指導の対象者以外において、保健指導の必要のある者への保健指導実施及び受診勧奨の実施 ・メタボリックシンドローム非該当であるが、血圧、血糖値等が指導対象域にある者 ・30歳代受診者における検査数値異常者 ・健診結果異常に伴う治療中であるのに、結果が引き続き受診勧奨域にある者 ・健診結果異常に伴う受診勧奨	・国保被保険者における特定健診項目以外の詳細な健診実施及び二次検診実施 ・特定保健指導の対象者以外において、保健指導の必要のある者への保健指導実施及び受診勧奨の実施 賃金、旅費、需用費、役務費委託料	・国保被保険者における特定健診項目以外の詳細な健診実施及び二次検診実施 ・特定保健指導の対象者以外において、保健指導の必要のある者への保健指導実施及び受診勧奨の実施 賃金、旅費、需用費、役務費委託料 ・データヘルス計画の策定	・国保被保険者における特定健診項目以外の詳細な健診実施及び二次検診実施 ・特定保健指導の対象者以外において、保健指導の必要のある者への保健指導実施及び受診勧奨の実施 賃金、旅費、需用費、役務費委託料	・国保被保険者における特定健診項目以外の詳細な健診実施及び二次検診実施 ・特定保健指導の対象者以外において、保健指導の必要のある者への保健指導実施及び受診勧奨の実施 賃金、旅費、需用費、役務費委託料	・国保被保険者における特定健診項目以外の詳細な健診実施及び二次検診実施 ・特定保健指導の対象者以外において、保健指導の必要のある者への保健指導実施及び受診勧奨の実施 賃金、旅費、需用費、役務費委託料	
	事業費(千円)	11,562	2,159	2,269	2,379	2,155	2,600
計 画 事 業 費	財源内訳	5,010	994	1,099	1,156	490	1,271
	道 支 出 金	0					
	地 方 債	0					
	そ の 他	0					
	一 般 財 源	6,552	1,165	1,170	1,223	1,665	1,329
実 績 事 業 費	事業費(千円)	7,914	1,760	1,702	1,847	1,514	1,091
	財源内訳	2,621	690	703	649	493	86
	道 支 出 金	0					
	地 方 債	0					
	そ の 他	0					
一 般 財 源	5,293	1,070	999	1,198	1,021	1,005	
関 連 事 項	特定財源の名称	【評 価 ・ 実 績】					
	・国保特別調整交付金	(実施内容等) 二次検査受診者4人 詳細な健診受診者375人 歯科に係る保健事業の実施	(実施内容等) 二次検査受診者 5人 詳細な健診受診者 342人 歯科に係る保健事業の実施 データヘルス計画の策定	(実施内容等) 二次検査受診者 3人 詳細な健診受診者 348人 歯科に係る保健事業の実施 データヘルス計画の策定	(実施内容等) 二次検査受診者 0人 詳細な健診受診者 310人 歯科に係る保健事業の実施 データヘルス計画の策定	(実施内容等) 二次検査受診者 0人 詳細な健診受診者 266人 歯科に係る保健事業の実施 データヘルス計画の策定	
		※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続	年度目標値	50%	50%	50%	50%	50%
	年度達成率	82%	75%	78%	70%	42%	
第6期計画への継続	全体達成率	15%	30%	46%	59%	68%	
	備考欄						

事業名	国民健康保険保健事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保険給付係長	前田 忠和

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町国民健康保険被保険者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	(特定保健指導対象外) 保健指導率及び受診勧奨実施率50%								
【抱える課題やニーズは】	特定健診の特定保健指導の対象外となった方(予備群)の、生活習慣病の早期発見、早期予防対策の支援、勧奨	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少	① 保健指導率	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>50%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>63%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>126.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	50%	実績値	63%	達成度	126.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	50%										
実績値	63%										
達成度	126.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	重症化の予防と医療費の抑制	② 受診勧奨実施率	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>50%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>76%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>152.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	50%	実績値	76%	達成度	152.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	50%										
実績値	76%										
達成度	152.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	特定健診(町独自項目)の実施	特定健診(集団・個別)の基本項目以外に町独自項目を実施した。									
	二次検診の実施	特定健診の結果、特定保健指導域まで達しない被保険者に二次検診を行い、実情に合わせた動機付けや支援を実施した。									
	歯科に係る保健指導の実施	早期からの口腔内の健康を促すため、学童期(小学1年生～6年生)とその保護者を対象に、保健師と歯科衛生士が共同のもと、保健指導を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	特定健康診査等実施計画の目標値である「平成29年度までにメタボリックシンドローム該当者及び予備群の25%減(平成20年度比)」を実現するため、また、町民の健康管理と本事業を通じて、医療費の抑制が期待できることから必要である。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	生活習慣病予防の重要性を被保険者に広く周知することができ、目標値を上回ることができた。今後も引き続き事業を進めることにより、期待する効果が得られる。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	費用対効果の面で、将来的な医療費の抑制幅が挙げられるが、結果が出るまでには時間を要するため、中長期的に実施する必要がある。また、保健指導の対象範囲に低年齢層を加えるなど、低コストで効果発揮する取組メニューにより実践した。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
課題あり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	全被保険者を対象に事業を実施している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある
課題あり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
特定健診事業の補完事業として一定の役割を果たしており、目標が達成されたことから、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民の健康を増進し、医療費を抑制するためには、引き続き事業の実施は必要である。		

※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止